

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票		経理番号
		/

会 派 名	無会派	年 度	平成 28 年度
項 目	備品消耗品費	金 額	669 円
内 容	パソコン70127-127		
支 払 先	ヤマダ電機	支払年月日	平成28年 6 月 5 日
備 考			

領収書等の証拠書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）

 株式会社 **ドンキ** 電機
 本部 新潟県新潟市東区1-1
<http://www.yamada-donkiweb.com>
 テックランドNew加古川本店
 079-497-5037
 御来店誠に有り難う御座います
 ポイントカード会員募集中！
 金銭又書
 No. 0552-320-306432 [現金売]
 2016/06/05 17:06
 レジ担当: 658944
 店長担当: 658944
 会派No. 
 3708374014 CIEICBK50
 EPNV3047 1: 特約 外08
 50
 10
 ¥620
 ¥620
 小計 消費税
 税込合計 引き
 現金 内消費税
 お釣り
 ¥669
 ¥669
 ¥1,000
 ¥331

代 表 者	經理責任者
	

2.

支 払 伝 票

無会派

平成 27 年度

備品消耗品費

310 門

人⁰4口²7⁰4²9- イ²ク

ヤマタ電機

平成28年 6月18日

領収書等の証拠書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）

税金
消費税
送料
手数料

合計金額

現金
振込
クレジットカード

◇ ¥3,110
¥3,110
¥3,110
¥3,110

1303.

42-3880

72, 880

50

廣

No.0552-325-063627
2016/06/14 11:45
レシ担当:652358
販売担当:652358
[現金元]

領收書

テックランドN ew 加古川本店
079-497-5037
御来店誠に有り難う御座います
ホィントカード会員募集中！



本社 群馬県高崎市柴町1-1
http://www.yamada-denkiweb.com

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			3
会 派 名	無会派	年 度	平成 28 年度
項 目	研修費	金 額	115,270 円
内 容	別紙出張調査局及び出張調査研修報告書のとおり		
支 払 先		支払年月日	平成28年 5 月 25 日
備 考			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

領 収 証

松崎 雅彦 様

28 年 5 月 26 日

★

¥15,000

但「地域活性化・地域の課題解決」

5/26 10:00～ 研修会受講代として

上 記 正 に 領 収 いた しまし た

地方議員研究会

〒530-0001

大阪市北区梅田1丁目1-3-23F 7-3

TEL 06 (7878) 6297



領 収 証

松崎 雅彦 様

28 年 5 月 26 日

★

¥15,000

但「行政改革と議会」

5/26 14:00～ 研修会受講代として

上 記 正 に 領 収 いた しまし た

地方議員研究会

〒530-0001

大阪市北区梅田1丁目1-3-23F 7-3

TEL 06 (7878) 6297



領 収 証

松崎 雅彦 様

28 年 5 月 27 日

★

¥15,000

但「マーケティングの視点を活かした住民へのコミュニケーション」

5/27 10:00～ 研修会受講代として

上 記 正 に 領 収 いた しまし た

地方議員研究会

〒530-0001

大阪市北区梅田1丁目1-3-23F 7-3

TEL 06 (7878) 6297



※届出者が議員の場合は、代表者欄に記入のこと。
 ※往復割引適用後の運賃 $9,610 \times 0.9 = 8,640$ (10円未満切り捨て)
 ※5/25は前泊 午後出発のため、半日当。



出張調査研修報告書

平成28年 6月 2/日

市議会 議長様

会 派 名 無会派

出張者氏名

松崎 雅彦



印

印

印

印

下記のとおり報告します。

日 程	平成28年 5 月 25 日 ~ 平成28年 5 月 27 日
視 察 先	東京都 中央区、地方議員研究会 研修
視察（調査）事項	5月26日 「地域活性化・地域の課題解決」「行政改革と議会」 5月27日 「マーケティングの視点を活かした住民へのコミュニケーション」 別紙 1
復命事項（所見及び感想）	別紙 2 の とうり (2-1 ~ 2-7)
出張に伴う経費の精算	前 渡 金 額 115,270 円 精 算 額 115,270 円 過 不 足 額 0 円

※報告者が議員の場合は、出張者氏名欄に記入のこと。

2-1

地方議員研究会セミナー 平成28年5月26日 ～ 27日 東京都
「地域活性化・地域の課題解決」 講師 永田潤子 氏

1、日本の地域政策の変遷

1995年～ 2000年

産業の都市集中、産業集積の機能向上

2000年～ 2010年ごろ

地域再生、都市再生

(2000年～)

農や食を意識した地域活性化

地域創生

国と地域が一丸となって、各地域がそれぞれの特徴を生かした自律的で持続的な社会を創生とあり、東京1極集中を解消し、地方経済を振興していくこと。

地域活性化、地域住民生活等緊急支援交付金 先駆的に事業を交付

先駆性とは

1、政策間連携

関連する政策をパッケージ化し、利用者から見てワンストップ化を目指すものであること

2、地域間連携

広域にわたる複数の地方公共団体が、適切に連携して同一事業を実施するものであること

3、官民協働

民間事業者やNPO等との官民協働により事業の継続性、経済的な自律性を目指すものであること

4、事業推進主体の形成

5、政策5原則など

地域再生と地域活性化

創造的福祉社会

創造都市の指標

事例1、島根県益田市匹見町

男の料理教室 民宿の経営 ブルーベリージャム作り 古代体験ツアー
匹見町中学校ふるさと再発見

事例2、愛媛県今治市「今治タオル事業」

アジアの各国から安いタオルが大量に輸入されていく

昔からのタオル産業が存亡の危機

経済産業省の補助金制度を利用し、今治タオルをブランド化に全力を傾注。

何とかブランド化に成功し、タオル産業の存亡の危機からの再生が図られた。

タオルを研究している学者とコラボし、給水率を厳格に「基準化」

事例 3、新潟県鯖江市 「眼鏡産業のブランド化」

隣の韓国から大量の安いメガネが輸入されてきて眼鏡産業が存亡の危機に。

メガネ組合と鯖江市が協議の上、鯖江メガネの販売戦略について厳格に議論し、

「高級ブランドメガネ」として売り出す事を決定し、国内を始め、海外にも積極的に販売戦略して、何とか成功してきた。

地方再生と公共人材の課題

- 地域再生の事例を見てみると、成功してきた事例は、中心になった人材が大きな成功の要因になっている。
- 人材の持続的可能性が最大の課題となっていく
- 地域の中で、人材を今後も確保していくための仕組みづくりが必要である

韓国の契約専門職制度

専門的な人材を、期限付きの自治体職員として採用し、地域再生の為に従事している

地域の自治組織に見る自主自立の事例 広島県安芸高田市

1970年代から、住民の自治組織が立ち上がり、「自分たちの地域は自分たちの手で」スローガン

部会制での事業計画を推進してきた

スーパーマーケット、ガソリンスタンド、デマンドバス等について住民による自主運営

「1人1日1円募金」 みんなに無理のない金額で、そして自分たちがやるしかないとの意識が芽生えていく取り組み

NPOバンクの取り組み

お金を通して、出資者と融資先が繋がり続ける仕組み

コミュニティづくり 市内の中小企業や個人商店を対象にした取り組み

組織名	地域	出資総額	融資累計金額
未来バンク事業組合	東京	1億6,800万円	9億700万円
女性市民コミュニティバンク	神奈川	1億2,900万円	4億1,600万円
北海道NPOバンク	北海道	4,500万円	2億5,800万円

出資金の募集の概要

対象	個人や団体から	全国の希望者から出資を募る
金額	個人1口1万円から、	団体は5口5万円から

事業の審査のポイント

地域性、市民性、独自性、継続性、成長性、発展性、浸透性などについて審査をする

「行政改革と議会」

講師 永田潤子 氏

1、政府の役割の変遷

近代国家	現代国家	そして現在
18 世紀	19 世紀後半	20 世紀末から
保安国家	職能国家	
安価な政府	福祉国家	人間関係的資産
立法国家	行政国家	

2、構造的課題に対する改革

1970 年代以降直面してきた課題

財政赤字が肥大化、 自国経済の停滞 成熟社会の到来
国民ニーズが多様化 政府の信頼性が低下

1980 年代以降

政府の役割と希望の見直し 成果指向の組織運営の実現
財務マネジメントの見直し

構造改革へのアプローチ 民間の経営手法を導入してきた

地方自治体が目指したもの 効率性、施策の無駄を省く、 有効性 効果的な施策

NPMにおける行政運営

業績と成果による統制。 市場メカニズムの活用。 顧客基点。

行政評価システムの導入。 学習する組織に向けた組織文化の変革

市場メカニズムの活用

公的企業の民営化、独立採算、民間企業の転換

民間委託 競争入札等によって

バウチャー制度 市民を対象にした補助金制度

エージェンシー 民営化の対象となりにくい物を独立機関化し、契約で業務遂行。

市場化テスト 民間からの入札を行い、民間に委託していく制度

顧客基点 住民の目線に立って考えていくこと

住民サービスを提供していく相手として「顧客」として認識すること

顧客満足度を測定し活動の基準として行くこと

ターゲットとなる顧客を明確にして、行政サービスを考えていくこと、

市民の 3 つの顔

1、サービスの利用者 2、納税者 3、協働としての市民

ヒエラルキー構造の簡素化

1、分権化された、小規模での組織。 フラット化した組織

権限は、執行部門の独立化をしていくことがポイント

業務改善のために行使できる権限の所在と責任を一致させること

公共サービスの外部化

業務委託。 包括的民間委託。 一括的民間委託部分。
指定管理者制度。 PFI。 市場化テスト。

図書館の指定管理者制度の事例

- 1、図書館の継続性、安定性
- 2、図書館の自律性と独立性の確保
- 3、制度導入により経費削減を目的としていること
- 4、住民要望に基づくサービス改善を図ることが困難となる

指定管理者の導入にあたっての課題

- 1、役割とその成果を明示する
- 2、官と民の責任分担を明確化する
- 3、発注時の契約内容の改善

外部化を機能させるためには、

公共 施設のサービス内容と要求水準の規定
評価と業績に連動した中での支払い

指定管理者 仕様書に記載された要求の実施に関する提案
事業戦略の策定 業務改善の取り組み

大阪市の改革

- 1、マネジメント改革
人材や資金をフルに活用し、健全かつ持続可能な経営体質を確立させること
- 2、コンプライアンス改革
市の描く組織で正しいことのチェックと組織の日常活動に内部統制の仕組みを
ねずかせ、市民からの信頼を回復していく
- 3、ガバナンス改革
日常的な改革を持続させるための組織作り体質づくり。

改革のマネジメント

改革アプローチ 危機感を共有する。外からの健全な圧力、情報公開
改革戦略の存在 改革プロセスの設計 実行性を担保する
現状の見える化 現状について、数値やデーターで分析する
改革のイニシアティブ 行政と職員のスキルアップ 自立的な改革
改革の進化・出口 抜本的な改革によって健全な意見対立とコミュニケーション

「マーケティングの視点を活かした住民とのコミュニケーション」

講師 永田潤子 氏

1、意思形成・合意形成

まちづくりの主体として、広く政策等の企画や立案、実施、評価等の各段階に住民は自発的に関与することが望まれている

合意形成とは何か より良い合意形成の方法があるのか
理論。方法。実践

合意形成

- ・合意は各人がすべての利害関係者の関心と懸念を満たすための努力の跡の提案に同意する時に達成される
- ・人々がコミュニケーションを媒介としてあらゆる命題を相互承認していること
- ・多様な価値観の存在を認めながら、立場の根底に潜む価値を掘り起こして、その情報を共有し、相互に納得できる解決策を見いだしていくプロセス

コミュニティとは

- ・リアル型 現実型コミュニティ
従来型のコミュニティ、自動的に所属する団体、町内会、商工会、PTA
- ・ボランタリー型 自然形成コミュニティ
ある興味を持つ個人同士がグループ化したもの 同好会、ボランティアなど
- ・プロダクト型 戦略的コミュニティ
企業などがある家と思って特定テーマを設定し、集まったもの
ユーザークラブ、公認ファンクラブ、オーナーズクラブ

21世紀のコミュニティの特徴

- ・目的、関心、興味などを共有するメンバーは帰属意識、参画意識を持って参加している
- ・強制ではなく自主的に参加している 安全と信頼をベースにしている
- ・複数のコミュニティに参加することが可能になっている

参加の5段階

市民参画と協働

- ・パートナーシップ ・意味のある応答
- ・形だけの応答 ・意見聴取 ・情報提供

意思決定とマーケティング

どんな製品を作るのか。 どうやって伝えるか。 どうしたら読んでもらえるか

男性視点と女性視点について

女性視点は、若者や高齢者の視点とも言われている。感覚やイメージがポイント。

感覚やイメージを中心に情報を伝える

キーワード 自分・共感・世代別

男性視点 事実や物の情報が中心

男性の脳と女性の脳の特徴

社会の変化とファシリテーション

ファシリテーション型リーダーシップ

自立分散型社会の時代 ピラミッド社会からネットワーク社会へ 協働の時代

プロジェクト型組織の台頭 プロジェクトチーム 世間型からテーマ型へ

組織再編の大きなうねり 組織の合併 企業、自治体、各種団体

ファシリテーションとは

促進する、容易にする、円滑にする、助長する、スムーズに運ばせる。が語源。

中立的な立場で、チームのプロセスを管理し、チームワークの成果が最大となるように支援するのがファシリテーター

ファシリテーションのスキルとは

- | | |
|---------------|-----------------|
| ・場をつくり、つなげていく | 協働のプロセス |
| ・問いかけ、引き出す | 共感のコミュニケーションの技術 |
| ・噛み合わせ、整理する | 議論を構造化する技術 |
| ・つむいで、まとめる | コンフリクトマネジメントの技術 |

場をつくり、つなげる アイスブレイク

- ・体や心をほぐす 深呼吸、ストレッチ、笑顔
- ・お互いをよく知る 自己紹介、好きなものを紹介する

場の設定で感情は影響を受ける

座る位置 正面に向かい合う座り方。横並びに座る。同じ方向に座る。

快適なコミュニケーションの距離 性や年代によって距離が違う

机のレイアウト コの字型、サークル型、バス型

問いかけ・引き出す

コミュニケーションの基本は、自分を理解してもらうより、相手を理解することの方が先

感性のある質問を上手に使うコミュニケーション

理解のコミュニケーション 共感のコミュニケーション

所感と感想

加古川市議会議員

松崎雅彦

1、「地域活性化・地域の課題解決」

地域活性化の成功事例として、新潟県鯖江市の眼鏡、愛媛県今治市のタオル事業が例示された。どちらの地域においても、国内や外国からの圧力がかけられてくる中で、地域と行政が必死になり、真剣勝負の中で生き残りをかけての戦略によって、世界から評価されるまでに成長してきた。加古川市としてもこれらの点で教訓点としなければと痛感した。また地域の自主自立では、広島県安芸高田市の取り組みが紹介され「自分たちの地域は自分たちの手で」をスローガンにした中で地域おこしを市民が積極的に取り組んできている。特にスローガンを加古川市版に組み替えて大いに参考にすべきと思いました。

2、「行政改革と議会」

行政改革について国からの強力に指導されてくる中で全国の自治体で取り組んできているが講師からは、行政改革の取り組みでは、民間の経営手法の導入、効率性・施策の無駄を省く、といった表面的なことだけの取り組みに終わってしまっており、行政として市民の立場に立って 有効的、効果的な施策を施行してこれなかったことに対する反省と厳しい指摘が強調された。

顧客基点とは、住民の目線に立って考えていくこと。市民を「顧客」として認識した中で行政サービスを提供していくこと。この視点が重要であることが提起された。

市民に対する見方についても、市民は 3 つの顔を持っており、①サービスの利用者 ②納税者、③協働としての市民。特に今後行政サービスを施行するにあたって財源的に限界が生じる今後についてポイントとしておく必要がある。

私たちは前市長の時代から、行政改革に取り組んできているが、このような視点の下に取り組んできたのか振り返らなければならないと痛感しました。

3、「マーケティングの視点を活かした住民とのコミュニケーション」

まちづくりの主体として、広く政策等の企画や立案、実施、評価等の各段階に、住民は自発的に関与することが望まれていることが強調された。そして住民の市民とはどのようにして「合意形成」を計っていくのかも講師から強調された。合意はすべての利害関係者の関心と懸念を満たすための努力の跡の提案に同意する時にこそ達成される。ということですが、このようなことを施策を推進していくときに実行できるのだろうか、講師に質問してきたが、講師からは、今までのように財政の事を十分に考えずに施策を推進出来た時代とは変わって、これからは住民が望むことの半分もできなくなっている時代だからこそ、特にこの合意形成ということを大事にして、市民に今までのようにはできないことを、丁寧に説明し、話し合い理解してもらうことがポイントであると教えていただいた。

これからは行政と議会も一緒になって、この政治姿勢を基本に全力で取り組んでいかなければいけないことを痛感しました。

プロフェッショナル議員のための

基礎講座シリーズ

より良い仕事をしたい！しかし、行政の仕組みなどが良く判らない...

行政改革や地域活性化など、自治体を巡る最近の流れや課題をポイントを押さえて理解したい...。
熱い思いや志があるからこそ、そして支持して下さった市民の皆さんへの責任を果たすための基礎講座。
社会人大学院で、学生として勉強する議員を、実際に教え指導した経験が多数ある講師を迎えて開催。

in
博多

4月11日(月)

in
東京

5月26日(木)

in
博多

4月12日(火)

in
東京

5月27日(金)

10:00~12:30

地域活性化・地域の課題解決

これまでの地域活性化の様々な事例を紹介しながら、何がポイントになるのかを中心に考えます。補助金による事業の課題や、市民参加による地域での課題解決事例なども取り上げ、地域を見る目、事業を見る視点を整理します。

14:00~16:30

行政改革と議会

三重県の北川知事から現在の自治体改革までの流れを振り返りながら、「何を目指したのか」「課題は何か」など、自治体改革の本質やエッセンスを理解します。行政改革を見る目、議員として質問すべき項目などを整理します。

10:00~12:30

マーケティングの視点を活かした 住民へのコミュニケーション

議員としての活動や思いを、住民の方に伝える(伝える)ポイント、読んでもらえる活動報告の作り方、記事の書き方のコツなどをマーケティングの視点から解説します。

14:00~16:30

行政評価、地域での課題を見える化

自治体の行政評価やさまざまなデータや調査結果をどう見れば良いのかを解説しながら、行政の取り組みや評価結果を見るポイントや事業の現状分析のやり方のポイントを紹介します。

なみた しゅんこ

永田 潤子

大阪市立大学大学院 創造都市研究科 准教授

1961年、福岡県生まれ。海上保安庁の幹部を養成する海上保安大学校初代の一人の女子学生として入学。26歳で女性初・最年少で巡視船船長になる。その後、埼玉大学大学院政策科学研究科(現：政策研究大学院大学)にて政策分析修士号を取得、大阪大学経済学研究科博士後期課程(単位取得満期退学)にて経営学・意思決定について研鑽。1997年海上保安大学校行政官理学講座助教授、2003年4月より現職。
専門は、公共経営論(CSRを含む)であり、個人・組織の関係や組織のマネジメントについて研究する他、マーケティングの視点を活かした「生命プロジェクト(社会技術開発研究センター)」の研究代表を務めるなど、社会問題の解決を目指した理論と実践を試みている。国や地方自治体の関係会・研究会、海外経済同友会の理事リーダー・兼成員の担任講師や企業のCSR顧問、アドバイザーなどを幅広く活躍。松下大阪府知事時代の特別顧問、滋賀県知事府内も務めた。

講師ご紹介

↑ FAX 06-7878-6308 ↑

お申込みは ☎ FAX または ✉ メールにて

お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。
「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。



メール申込み方法

mail@chihogiken.jp



FAX申込み書

申込書に明記の上、FAXで06-7878-6308宛にお送りください。
参加される講座にチェックボックスへ ☒ チェックください。

in博多

4月11日 (月)	10:00~12:30	☐ 地域活性化・地域の課題解決
	14:00~16:30	☐ 行政改革と議会
4月12日 (火)	10:00~12:30	☐ マーケティングの視点を活かした住民へのコミュニケーション
	14:00~16:30	☐ 行政評価、地域での課題を見える化

in東京

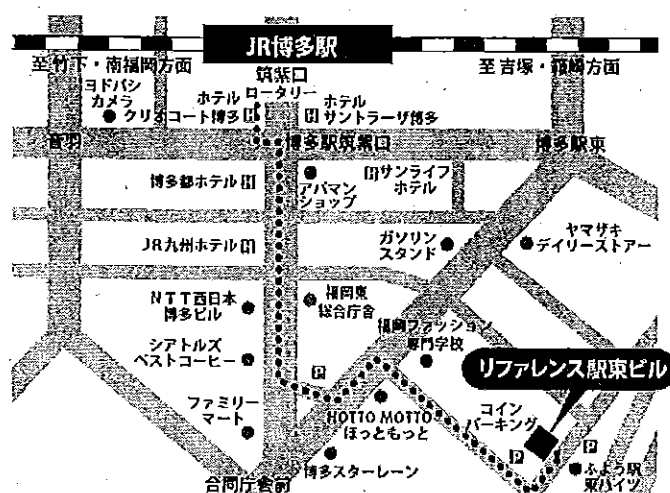
5月26日 (木)	10:00~12:30	☒ 地域活性化・地域の課題解決
	14:00~16:30	☒ 行政改革と議会
5月27日 (金)	10:00~12:30	☒ マーケティングの視点を活かした住民へのコミュニケーション
	14:00~16:30	☐ 行政評価、地域での課題を見える化

お名前	(フリガナ) マツヤマ マサヒコ 松崎 雅彦	貴議会名	兵庫県 加古川市議会 (期目)
ご住所	(〒625-0104) 兵庫県加古川市平岡町高畑 477		
電話番号	(079) 426-0529	FAX番号	(079) 426-0529

開催場所
in 博多

リファレンス駅東ビル

〔4講座〕〒812-0013 福岡市
同場所 博多区博多駅東1丁目16-14

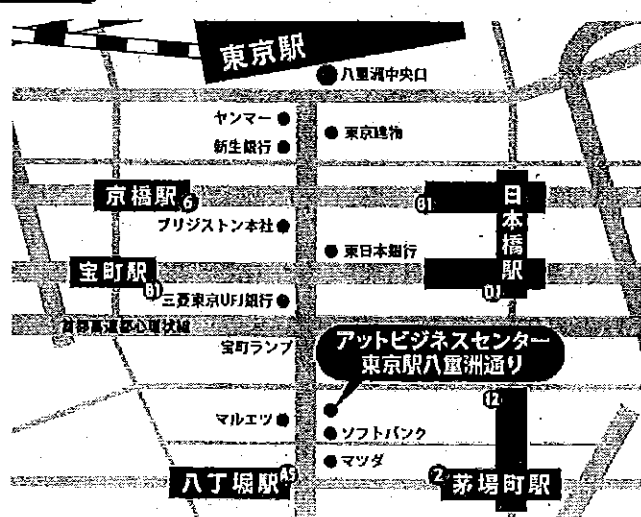


JR博多駅筑紫口より徒歩4分 博多スターレーン方面へ向かい、お弁当「HOTTO MOTTO」角を右折。左側ガラス貼りのビル。(1階コインパーキング)

開催場所
in 東京

アットビジネスセンター東京駅八重洲通り

〔4講座〕〒104-0032 東京都中央区
同場所 八丁堀1-9-8 八重洲通りハタビル



JR東京駅(八重洲口)より徒歩約10分 日比谷線八丁堀駅より徒歩2分

受講料

1講座 15,000円(税込)

受講料は「受講確認書」到着後に
事前にお振込みをお願いします。

※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

お問合せ
事務局

地方議員研究会

TEL 06-7878-6297

FAX 06-7878-6308

メール mail@chihogiken.jp